

地震被害調査小委員会

H30年度活動報告

- ◆ 委員長：清田隆
- ◆ 副委員長：高橋良和
- ◆ 幹事長：小野祐輔

地震対応

活動の基準

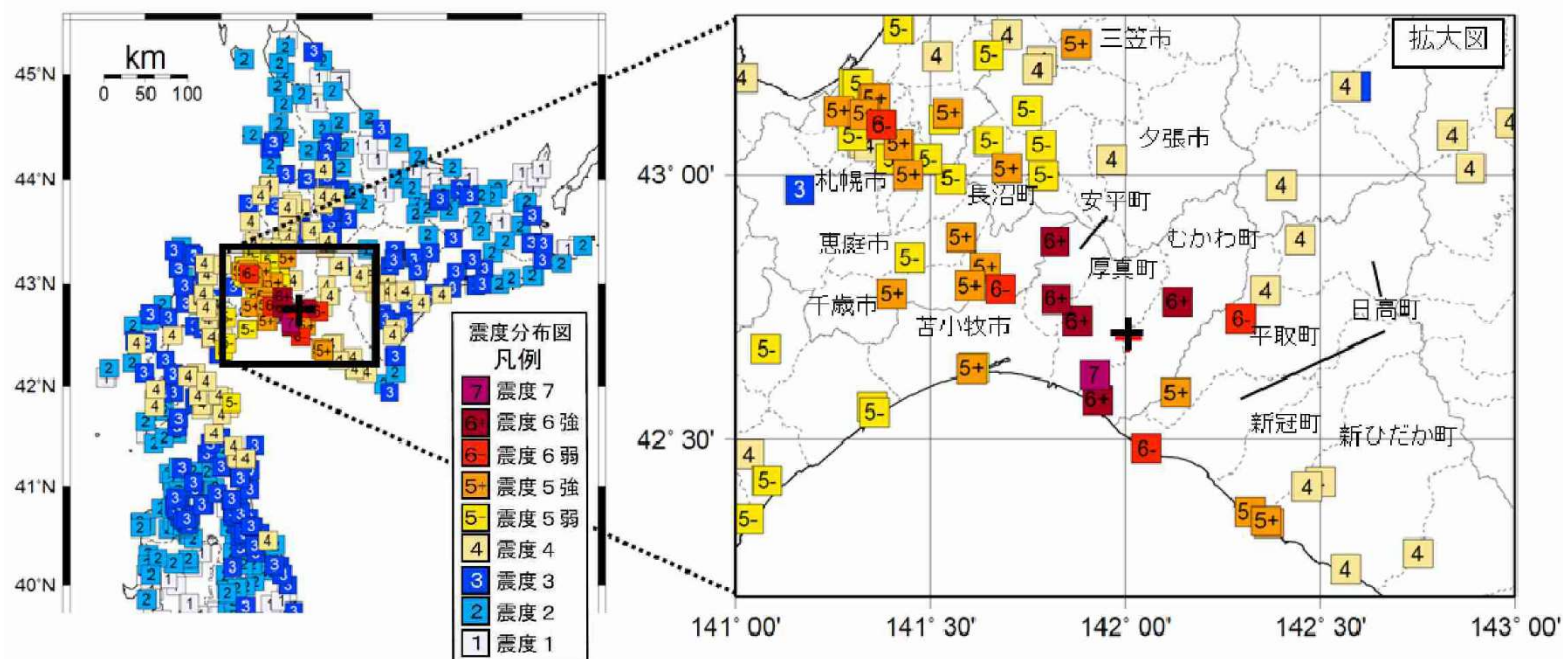
国内の地震： 震度5強以上を目安に情報収集を呼びかけ

海外の地震： 基準無し（インパクト、委員会の関心に応じて呼びかけ）

- 2018年4月9日 島根県西部地震： 情報収集、website立上げ。
- 2018年6月18日 大阪府北部地震： 情報収集、website立上げ。**7/23報告会**
- **2018年9月6日 北海道胆振東部地震： 調査団派遣**
- **2018年9月28日 インドネシア・スラウェシ島地震： 調査団派遣**
- 2018年11月30日 アラスカ州アンカレッジの地震： 情報収集、website立上げ。
- 2018年12月5日 ニューカレドニアの地震： 情報収集、website立上げ。

震度分布図

平成30年北海道胆振東部地震



発生日時 平成30年09月06日(木)03時07分
震 源 胆振地方中東部、深さ37km(暫定値)
規 模 マグニチュード6.7(暫定値)
地震名称 平成30年北海道胆振東部地震
主な震度 **震度7 北海道厚真町**

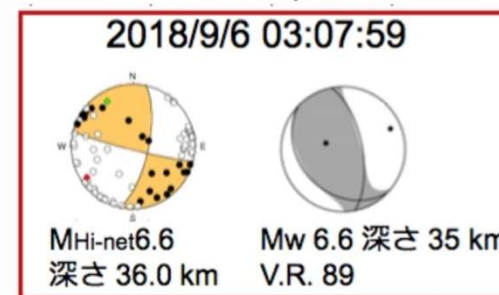
震度6強 北海道安平町、北海道むかわ町

震度6弱 北海道千歳市、北海道日高町、北海道平取町、
北海道札幌市東区

その他、北海道から中部地方の一部にかけて震度5強～1を観測。

北海道開発局 復興・強靱化対策本部HP

逆断層型



地震調査委員会

9/6 北海道胆振東部地震

- ◆清田小委員会委員長(東大)による緊急被害調査団 調査開始(9/8~)。
- ◆緊急対応ガイドライン: 連絡委員: 松本高志(北大)・宮森保紀(北見工大)
- ◆9月12日 北海道胆振東部地震対策本部(本部長: 塚田幸広専務理事)設置
- ◆9月21日 報告会@東京電機大学(共催: 地盤工学会)

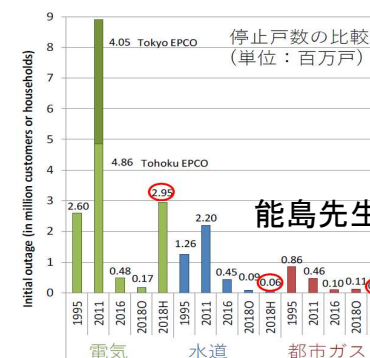
主な内容

1. 震源特性と地震動 吉見雅行(産総研)
2. 地盤災害(液状化・斜面崩壊等) 石川達也(北大)・川尻峻三(北見工大)
3. 構造物とライフラインの被害
佐藤京(寒地土研)・宮森保紀(北見工大)・庄司学(筑波大)・丸山喜久(千葉大)
4. インフラ・ライフラインの機能支障 能嶋暢呂(岐阜大)
5. 地震による交通への影響 池田武司(北海道開発局)
6. 自治体の災害対応に関する調査 沼田宗純(東大生研)
7. 全体総括と土木学会北海道支部の今後の役割 松本高志(北大)

参加者: 約300名



宮森先生



能嶋先生



沼田先生

北海道胆振東部地震 つづき

- ◆ 10月5日 第38回地震工学研究発表会 災害特別セッションにて小委員会メンバーが報告
- ◆ 9月12日 報告会@日本大学駿河台キャンパス(地盤工学会主催、本部共催)
- ◆ 10月2日 報告会@北海道大学(地盤工学会主催、本部共催：小委員会メンバーが報告)
- ◆ **10月4日 北海道胆振東部地震被害調査報告書編集部会**(委員長：松本先生)を設置。
- ◆ 2019年1月にかけて、報告書と継続調査に関する情報収集のため、NEXCO、北海道開発局、北海道庁、札幌市、北海道電力、JR北海道へのヒアリングを実施。



地震被害調査シリーズとして、熊本地震被害調査報告書の続編

2019年5月 原稿チェック、入稿
9月 地震1周年を目途に刊行、**最終報告会**

9/28 インドネシア・スラウェシ島地震

- ◆清田小委員会委員長(東大)による緊急被害調査団(地盤工学会と合同)
第一次(10/17~19)、第二次(11/2~4)
- ◆小野祐輔委員(鳥取大)による構造物被害調査 (11/15~21)



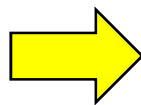
- ◆12月3日 **報告会**@東大生研(共催:地盤工学会)
 - ・断層と地震動: 吉見雅行(産総研)
 - ・津波の特徴と被害: 有川太郎(中央大学)
 - ・構造物被害: 小野祐輔(鳥取大学)
 - ・地盤災害: 清田隆(東大生研)・ハザリカ ヘマンタ(九州大)
 - ・被災地の復興に向けて: 東畑郁生(関東学院大)

小委員会メンバーの拡充

社会支援部門(減災・防災委員会)からの依頼により組織化された支部委員の皆様(全員)を、本小委員会メンバーに迎えた。

これにより、発災直後の段階から支部委員との連絡も密になり、緊急調査団による初動から調査団本隊による継続調査まで、スムーズに遂行できることを期待する。 →「災害対応フロー」の枠組み強化

H30年5月 12名



R1年5月 24名

令和元年度の活動計画

1) 委員会・WG活動等

◆ 委員会開催(年1回)

- ◆ 国内外の地震発生時に、地震工学委員会委員長、幹事長、運営幹事、土木学会専務理事、事務局長などと協議し、調査団派遣を決定する。収集した情報は、他委員会・他学会と随時連絡を密にして共有する。

◆ 観測地震記録ダウンロードサイトの運営

2) 行事等の予定

- ◆ 9月頃 北海道胆振東部地震 最終報告会を開催予定

3) 出版物等の予定

- ◆ 2018年北海道胆振東部地震被害調査報告書(6月 原稿提出予定、9月 発行予定)